

加工統計の概要

平成31年4月19日

厚生労働省

加工統計（厚生労働省）の目的

加工統計	調査の目的
生命表	ある期間における死亡状況（年齢別死亡率）が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が1年以内に死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標（生命関数）によって表したもの
社会保障費用統計	年金や医療保険、介護保険、雇用保険、生活保護、子育て支援など社会保障制度に関する1年間の支出を集計し、取りまとめたもの

【生命表】

統計の概要

○概要

- ・生命表とは、一定期間（作成基礎期間）におけるある集団の死亡状況を年齢の関数（生命関数）として表したもの。
- ・生命関数の中で最も広く使われている平均余命は、「ある年齢の者が、当該期間での死亡状況（年齢別死亡率）で死亡していった場合に、平均して今後どの程度の期間生きることが期待されるか」を表した指標。
- ・特に、0歳の平均余命を「平均寿命」という。

○作成内容

- 完全生命表：国勢調査による日本人人口（確定数）、人口動態統計（確定数）をもとに、5年ごとに作成
- 簡易生命表：推計人口による日本人人口、人口動態統計月報年計（概数）をもとに、毎年作成

- 予算額：343千円（H30年度）、1,639千円（H29年度）
343千円（H28年度）

主な結果

（平成29年簡易生命表）

平均寿命 男 81.09 年
女 87.26 年

利活用用例

0歳の平均余命である平均寿命は、すべての年齢の死亡状況を集約した指標となっており、保健福祉水準を総合的に示す指標として広く活用。

- 将来推計人口の計算の基礎資料
- 保健、医療、福祉等の諸施策の基礎資料
- 国際連合において、「Demographic Yearbook」（人口統計年鑑）を作成するために提供する指標

【平均寿命の年次推移】

(単位：年)

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
17	78.56	85.52	6.96
22	79.55	86.30	6.75
27	80.75	86.99	6.24
28	80.98	87.14	6.16
29	81.09	87.26	6.17

注:1)平成27年以前は完全生命表による。
2)昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

【社会保障費用統計】

統計の概要

○概要

年金や医療保険、介護保険、雇用保険、生活保護、子育て支援など社会保障制度に関する1年間の支出を集計し、取りまとめたもの

○作成内容

社会保障給付に係る統計（ILO基準表）：社会保障制度に係る支出のうち個人に対する給付費及びその財源となった収入を健康保険等の社会保障制度別に集計したもの

社会支出に係る統計（OECD基準表）：社会保障制度に係る支出全般（個人に対する給付費、施設整備費等）を高齢等の政策分野別に集計したもの

○作成方法

関係府省（厚生労働省等）が所管する社会保障制度ごとに整理している収支決算データを基に、OECD又はILOが作成した基準に沿って集計する。

○公表時期 毎年8月予定

○予算額 2,652千円（H30年度）、2,524千円（H29年度）
2,524千円（H28年度）

主な結果

- ・2016年度の「社会保障給付費」総額は116兆9,027億円。
- ・社会保障給付費うち「医療」は38兆3,965億円、「年金」は54兆3,770億円、「福祉その他」は24兆1,291億円。
- ・2016年度の「社会支出」総額は119兆6,384億円。
- ・社会支出のうち「高齢」は55兆7,549億円、「保健」は40兆6,711億円。
- ・社会保障給付費に対応する、社会保険料や公費による負担などの「社会保障財源」は、総額134兆9,177億円。

利活用用例

・厚生労働省を始めとする関係府省の政策立案に際して、我が国の社会保障の規模や推移、国際比較等の基礎資料として活用されており、「厚生労働白書」（社会保障給付費の推移等）や「高齢社会白書」（社会保障給付費の推移）等のもとより、各種審議会や検討会の資料としても多く引用されている。

・社会支出データは、日本を始めとする加盟各国から提供されたものが、OECDにおいて「Social Expenditure Database」として整備・公開され、国際機関やOECD加盟国における国際比較の基礎データとして広く利用されている。

【部門別社会保障給付費の推移(1970～2016年度)】

